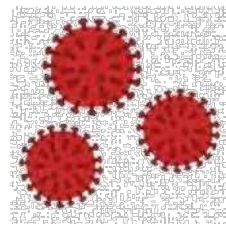


コロナ禍での校(地)区社協活動 ヒント集



コロナ禍での活動、 どんなことができるの？



新型コロナウイルス感染拡大予防のため、小地域福祉活動において、止むを得ず訪問活動や連絡調整会議を中止したり、今までの活動の実施方法を見直したりする等、これまでにない事態が続いています。

このコロナ禍での様々な制限で「出会い」が減少し、「人とのつながり」をより大切に感じた方も多かったのではないのでしょうか。

いまだ、感染の拡大のリスクが存在している状況にありますが、これまでのつながりを絶やさず、感染拡大の予防と活動の両立を図るため、各校(地)区社協での取り組み事例をまとめたヒント集を作成しました。

活動中での悩みや葛藤はつきないと思いますが、引き続き「新しい生活様式」を実践しながら、感染拡大防止にご留意いただき、今後の地域活動を実施する際の参考として活用いただければ幸いです。

まずは自分の暮らしを第一に！！

活動者の方もまずは自分や家族の暮らしを第一に、健康管理や感染防止に十分留意しながら、決して無理しないことを原則にしましょう。



《感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」の実践例》

日常生活の中で取り入れていただきたい実践例

あなたと大切な人の命を守るために、日常生活を見直しましょう

<p>会話は マスクをつけて できるだけ 真正面を避ける</p> 	<p>買い物は1人または 少人数で すいた時間に</p> 	<p>野菜、果物…</p> <p>買い物は 計画をたてて 素早く済ます 通販も利用</p> 
<p>ジョギングは 少人数で</p> <p>公園は すいた時間 場所を選ぶ</p> 	<p>筋トレやヨガは 自宅で動画を活用</p> 	<p>飲食は 持ち帰りや出前 デリバリーも</p> 
<p>料理は個々に、 横並びで座ろう</p> 	<p>仕事はテレワークや ローテーション 時差通勤でゆったりと</p> 	<p>発熱等の際は かかりつけ医に お電話を</p> 
<p>発症したときのために 誰とどこで会ったかを メモにする</p> 	<p>思いやりの距離を保つ</p> <p>2m</p> 	<p>手洗い、換気、健康管理 も重要です</p> <p>30秒程度</p> 

北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル TEL. 0570-093-567

【出所：北九州市ホームページ】

1 見守り・訪問活動

(1) 感染症対策に考慮した訪問活動

- ・インターフォン越しや窓越し等、距離を取っての訪問。



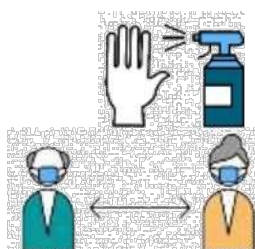
【訪問時に気を付けたこと】



自身の健康チェック



マスクの着用

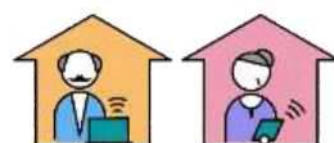


手指の消毒

ソーシャルディスタンス

(2) 非接触による見守り活動

- ・電話・ポスティングなどで安否確認。



- ・ながら見守り（散歩の途中に電気や郵便受けの状況を見て確認。）

【コロナ禍でのアンケート調査】

若松区：高須地区社協

北九州市大学の坂本准教授の指導の下、見守り対象の高齢者を中心に外出の頻度や健康状態、不安要因などについて電話でのアンケートを実施。

アンケートからは、外出頻度が減り、サロンの中止や市民センターが使えず、居場所がないなどの困りごとも見えてきた。



QRコード

詳細は高須地区のホームページを参照（2020.06.16の記事）

<https://www.kitaq-shakyo.or.jp/wakamatsu/takasu/>



(3) 今後に備えた取り組み

- ・福祉マップを作成し、コロナ後の活動展開に備えた。



見守り・訪問時に このようなものをお届けしました。



【メッセージカードやお手紙】

・往復はがきで「お元気ですか？」の
声かけをし、返信で状況を確認。

多くの返信があり、これまで把握して
いなかった新たな生活課題の発見につ
ながった。



▲「お元気ですか？」往復はがき
八幡西区：本城校区社協



【広報誌やチラシ】

・フレイル予防や熱中症予防、
「詐欺やヒートショックに注意」
などの旬な話題を取り入れた。

・在宅でできる脳トレを記載。

中井サロンだより▶
小倉北区：中井校区社協



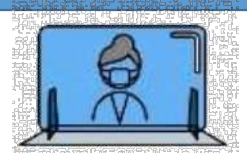
【その他】

・冷蔵庫に貼る緊急連絡先シート



2 会議や研修等、人数が多い集会

(1) 市民センターの感染症対策を踏まえて実施



《市民センターでの感染症対策》

- 1 人と人の距離をできるだけ2メートル、最低1メートルを確保してください。机を使用する場合は、対面での会話や飲食をしない配席をお願いします。
- 2 マスク等の着用をお願いします。
- 3 手洗いや手指の消毒の徹底をお願いします。
- 4 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状のある方は入館をお控えください。
- 5 万一患者が発生した場合の連絡対応のため、参加者の連絡先の把握をお願いします。
- 6 部屋を使用するときは、30分に1回（数分程度）の換気をお願いします。
- 7 利用後は、テーブルやいすの消毒をお願いします。

【出所：北九州市ホームページ】

「新型コロナウイルス感染症対策に伴う市民センターの開館について」から一部抜粋

(2) その他、独自の感染症対策や工夫

- ① 参加人数を制限
連絡調整会議の参加者を各地区の代表や役員のみに縮小。
- ② 人数を分ける（分散開催）
研修会やその他集会の定員を決め、人数を分けて複数回開催。
- ③ 広い会場を利用
多目的ホールなど広い会場に変更。

④ 配置を工夫

- ・長机1脚に、1人の席にする。
- ・対面ではなく、横並びで座る。
- ・スクール形式にする。
- ・テーブルを分散させる。(2m以上空ける)

⑤ 時間を短縮

会議では要点のみの報告し、詳細は書類で配布する。

⑥ 使用備品を減らす

机の使用をやめ、椅子のみのスクール形式。

⑦ LINE を活用した少人数会議の開催

【市民センターでの連絡調整会議の様子】 八幡西区：折尾西校区社協



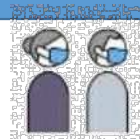
▲全員にフェイスシールド配付



▲25名(多目的ホールを使用)

3 サロン活動

(1) 市民センターの感染症対策を踏まえて実施



市民センターでは、センターの感染症対策（P5）を踏まえて実施。
また、センター以外でもセンターの感染症対策を参考に実施。

(2) その他、独自の感染症対策や工夫

① 広い会場を利用

多目的ホールなど広い会場に変更。

② 人数を分ける（分散開催）

人数が多い場合は参加者を2班に分けて、2部制で実施。

③ 参加者への注意喚起

- ・サロンの案内チラシに感染予防についての注意を記載。
- ・受付での体調確認や体温計測、手指消毒を徹底。

【北沢見サロン】

戸畑区：北沢見地区社協



▲受付での体調確認



▲ソーシャルディスタンスに配慮した座席配置

④ 座席を指定

参加者の座席を指定し、感染が発覚した場合の濃厚接触者が把握できる体制を整備。

⑤ 内容を変える



- 呼吸の上がらない程度の体操や、静かに過ごせる企画（小物づくりなど）にする。
- 食事やお茶の提供をやめる。
- 飛散防止のため、歌や大声を出す企画をやめる。
- 屋内だった活動をウォーキングや公園でのラジオ体操等、屋外で行う活動に変更。

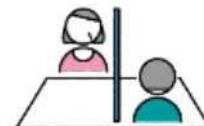
【にっこりサロン】

門司区：門司校区社協

サロンを再開するにあたり、3密を避けるために、屋外でウォーキング+清掃活動を実施。



⑥ パーテーションやビニールシートを設置



受付や作業・飲食する机にビニールシートやパーテーションを設置。

4 ウェルクラブ活動

例年は、地域の子どもたち（主に小学4～6年の児童）がふれあいネットワーク活動を中心とする取り組みに参加し、小地域福祉活動を体験していました。令和2年度は訪問活動を控え、勉強会や高齢者・施設へお手紙などを送る活動を中心に実施しました。

(1) 勉強会

- ・盲導犬についての勉強会と点字体験
- ・認知症キッズサポーター養成講座

【視覚に障害の人のお話を聞く】

八幡東区：中央第一地区社協

視覚に障害のある人が普段どんなことで困っているのか、困っているときにどのようにサポートできるのかなどについて、当事者から話を聞いた。

また、盲導犬ユーザーから補助犬のしごとや周囲の人が協力できることなどを教わった。



(2) 高齢者・施設へのお手紙やプレゼント

子どもたちに絵手紙や折り鶴を作ってもらい、高齢者や施設へ届けた。

【高齢者に喜んでもらおう大作戦】

若松区：小石・赤崎校区社協

地域の高齢者へ絵手紙を送付。往復はがきに書いて郵送し、高齢者からもお返事を書いてもらえるようにした。



5 ICT を活用した活動

ICTとは「Information and Communication Technology」（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、「情報通信技術」という意味です。身近な例で簡単に説明すると、SNS上でのやり取りやメール等、インターネットを利用して人同士のコミュニケーションを手助けする事もICTの活用事例に該当します。



【zoomを使用した敬老会】

敬老会会場の市民センターと小学校をzoomで結び、高齢者と小学生で交流。多目的ホールのスクリーンいっぱいに子どもたちの姿が映し出された。

※zoomとは？

パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリです。

小倉北区：日明校区社協



【YouTubeを活用した研修】

防災研修として「大牟田×企救丘防災インタビュー～地域からひとりの犠牲者も出さないために～」をYouTubeで配信。

インターネット環境がない方へはDVDを配布し、パソコンやテレビでいつでも研修を受けることができる環境を整えた。

小倉南区：企救丘校区社協



まちなかTV 町の駅 きくがおか TV

https://www.youtube.com/channel/UCQzPZR8lnKkYbFFW_llyFcw

※YouTubeとは？

音声付きの動画を自由に投稿・閲覧することができる、インターネット上の動画共有サービスです。

QRコード





みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



〒804-0067
北九州市戸畑区
汐井町1番6号



北九州市社協

北九州市社会福祉協議会

●地域福祉部

地域支援課 TEL882-4425 FAX873-1351

各区事務所（区社会福祉協議会）

●門司区事務所（門司区社会福祉協議会）	TEL331-3688	FAX331-5994
ボランティア・市民活動センター	TEL322-2966	FAX331-5994
●小倉北区事務所（小倉北区社会福祉協議会）	TEL571-5452	FAX571-9553
ボランティア・市民活動センター	TEL562-2051	FAX562-2051
●小倉南区事務所（小倉南区社会福祉協議会）	TEL951-5388	FAX951-5391
ボランティア・市民活動センター	TEL951-5220	FAX951-5391
●若松区事務所（若松区社会福祉協議会）	TEL761-3422	FAX761-3660
ボランティア・市民活動センター	TEL761-2208	FAX761-3660
●八幡東区事務所（八幡東区社会福祉協議会）	TEL681-6601	FAX681-6013
ボランティア・市民活動センター	TEL662-0911	FAX662-5671
●八幡西区事務所（八幡西区社会福祉協議会）	TEL642-5035	FAX642-5077
ボランティア・市民活動センター	TEL642-0407	FAX642-5077
●戸畑区事務所（戸畑区社会福祉協議会）	TEL871-3259	FAX881-8557
ボランティア・市民活動センター	TEL881-8555	FAX881-8557

このヒント集は、令和3年6月現在の状況で作成したものです。
今後の感染症の状況次第で、対応が変わる可能性がありますので、国や県などから新しい情報が出された場合は、新しい情報に従ってください。